

(お 知 ら せ)



平成 24 年 5 月 7 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成 24 年 5 月 7 日現在）

1 号 機 沸騰水型（35 万 7 千 kW）	第 33 回定期検査中 平成 23 年 1 月 26 日～未定*
2 号 機 加圧水型（116 万 kW）	第 18 回定期検査中 平成 23 年 8 月 29 日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成 24 年 4 月 7 日～平成 24 年 5 月 7 日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所 3，4 号機 準備工事について（平成 24 年 5 月 7 日現在）

（1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の追加切取工事のうち、安全対策として法面補強工事（アンカー設置）等を行っています。

（2）仮設工事関係

現在、仮設用地内のコンクリートプラントにおいて、コンクリートの品質確認のための試験を行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

当社は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に関連し、以下の発表を行いました。

- ・ 敦賀発電所2号機ストレステスト一次評価報告書の再提出について
- ・ 敦賀発電所敷地内の破砕帯の追加調査について

詳細については別紙1をご参照下さい。

当社は今後も全力を挙げて事故の情報収集、分析を継続し、新たな知見が得られた場合には必要な対策について、迅速かつ的確に反映してまいります。

5. その他

(1) 敦賀発電所2号機用新燃料の輸送について

敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力116万キロワット）は、新燃料集合体24体を受け入れました。

（平成24年4月24日発表済）

(2) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

1) つれづれ俳句三人展 パートⅡ

〔川上 季石 様、千葉 半匡 様、中者 正機 様の3人による俳句展です。「席題」での俳句を短冊、色紙、画仙紙等に墨書した作品を30点展示予定です。〕

（5月8日～5月13日）

2) 懐かしい童話と昔話 ― 押し花アート ―

〔なごみ押花の会（代表：中山 美恵子 様）の皆様が子供の頃を思い返しながら童話や昔話のシーンを押花で表現した作品展です。新しい手法を取り入れ、2年間かけて作りあげた作品を90点展示予定です。〕

（5月15日～5月27日）

3) 第26回 慈しみの写仏展

〔敦賀写仏の会（代表：霜田 澄夫 様）の皆様が、日常生活の中に祈る心をもって、他者にやさしく、思いやりのところが持てることを願い、描いた作品を40点展示予定です。〕

（5月29日～6月3日）

(3) 次世代層等への教育支援活動関連イベント

＜次世代層等への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

“げん丸塾”「環境・エネルギー学習」

対象：げん丸塾生（会員制）

会場：プラザ萬象

日程：5月26日（土） 午前の部 10：00～12：00

午後の部 13：00～15：00

以上

東北地方太平洋沖地震への対応実績（４月７日以降）

（１）敦賀発電所２号機ストレステスト一次評価報告書の再提出について

当社は、平成２３年１２月２７日に原子力安全・保安院（以下、保安院）へ提出した敦賀発電所２号機の安全性に関する総合評価（ストレステスト一次評価）報告書に、１１９箇所の記事の誤りを確認した（平成２４年４月４日発表済）ことから、品質保証体制を再構築した上で他に記事誤りがないかを確認したところ、修正漏れを１箇所確認しました。

このため、１２０箇所の誤りを修正するとともに、より良い表現に見直した上で、当該報告書を平成２４年４月１９日に保安院に再提出しました。

これらの記事誤りは、いずれも評価結果に影響を及ぼすものではありませんでしたが、当社は、今回の事象を重く受け止め、発生原因を踏まえた再発防止対策を着実にやっていくとともに、今後の審査に適切に対応してまいります。

（平成２４年４月１９日発表済）

（２）敦賀発電所敷地内の破砕帯の追加調査について

平成２４年４月２４日、敦賀発電所敷地内にある破砕帯に関する調査の一環として、保安院による専門家を含めた現地調査が行われました。その際に、専門家から、「浦底断層に引きずられて動く可能性を否定するには、破砕帯を覆う堆積層の年代評価などの調査を更に行って検討することが必要」とのご指摘があり、同日、保安院より、「早急に追加の調査計画を取りまとめ、速やかに調査を実施する」よう指示を受けております。

当社は、早急に追加の調査計画を策定した上で調査を実施し、保安院に報告していく予定です。

（平成２４年４月２７日ホームページ掲載済）

以上